



第13回 MBA 軽井沢セミナー

Creative Japan from Karuizawa

「国際協力/国際保健の専門家に問う～

新型コロナウイルス感染拡大の途上国におけるインパクトについて」

毎回、軽井沢セミナーは、旧軽に位置します軽井沢ユニオンチャーチで行っていましたが、今年は、新型コロナウイルスの影響により、リモート（Zoom）による講演を企画させていただきました。

JICA や国際機関で公衆衛生の専門家としてご活躍され、現在は、ユニセフのアフガニスタン事務所でマネージャーとして母子保健のプログラム運営に関わっていらっしゃる芳野あき氏を講師にお迎えします。芳野さんは、30代前半に国際協力の分野へキャリアチェンジを目指して米国留学され、その後は公衆衛生専門家として、南アジア（パキスタン、アフガニスタン）、アフリカ（シエラレオネ、ナイジェリア、ソマリア、コンゴ民主共和国）に赴任され、医療体制や行政の脆弱な国々でエボラ出血熱や新型コロナウイルスの緊急対応にも従事され、国際保健、パンデミック最前線にてご活躍されて来られました。

今回は、アフガニスタンで、母子保健、コロナ緊急対応、公衆衛生・行政管理面強化に、日夜奮闘されていていらっしゃる芳野あき氏に、皆さんにとって一番関心の高いと思われる「新型コロナウイルス感染拡大と途上国におけるインパクト」についてお話をお伺いしたいと思っております。当日はアフガニスタンからの中継を予定しています。多くの方々のご参加をお待ちしています。

【日時】 2020年9月26日（土） 15:30～ 開場・受付開始

16:00～17:30 講演

【場所】 オンライン（Zoom）

【参加費】 無料

■ **講師： 芳野 あき（よしの あき）氏**

コロンビア大学 公衆衛生修士、行政管理修士（経済政治開発）
学習院大学文学部哲学科学士（美学美術史）

主催： NPO 法人MBAキャリアデザイン研究所

後援： NBS 長野放送

講師紹介

■ 芳野 あき（よしの あき）氏



<ご略歴>

大学卒業後、外資医療メーカーのプロダクトマーケティング業務などに関わる。30歳を区切りに、米国コロンビア大学にて公衆衛生学と行政管理学の修士号取得し、国際協力の業界へキャリアチェンジ。以降10年間、サブサハラアフリカ（シエラレオネ、ウガンダ、ナイジェリア、ソマリア、コンゴ民主共和国）、ボリビア、南アジア（パキスタン、アフガニスタン）の国連機関やJICAにて、国際保健専門家（主に母子保健と感染症対策）として緊急支援や開発プログラム、調査評価などの業務に関わる。2013年～2015年には、パキスタンのポリオ撲滅への日本政府援助を担当し、ビルメリンダゲイツ財団、世界銀行との協調のもと、65億円の借款案件を担当。2016年～2019年にはコンゴ民主共和国にて国連移住機関（IOM）の保健衛生事業を立ち上げ、保健プログラムの統括を務め、三度にわたるエボラ出血熱の緊急対応をリード。現在は、国際連合児童基金（ユニセフ）アフガニスタン事務所にて母子保健プログラムのマネージャーを務める。

お申し込み：参加ご希望の方は、氏名・所属団体・連絡先をご記入の上、9月19日迄に info@mba-career.net もしくは <http://www.mba-career.net> のHP上からお申し込み下さい。
ログイン情報は、申し込まれた方に追ってお送りいたします。

お問い合わせ：NPO 法人 MBA キャリアデザイン研究所事務局 info@mba-career.net

★NPO法人MBAキャリアデザイン研究所とは <http://www.mba-career.net/>

NPO 法人 MBA キャリアデザイン研究所（代表 庄司祐子）、その創業の意図するところは、産学連携の中で日本の MBA の価値を高めていく事にあります。当研究所では、12年前から軽井沢にて MBA セミナーを開催しております。今回、13回目にあたるセミナーでは、アフガニスタンからリモート（Zoom）にて開催。芳野あき氏を講師に迎え、「新型コロナウイルス感染拡大の途上国におけるインパクト」について、国際協力/国際保健の専門家のお立場からお話しを伺う予定です。

